



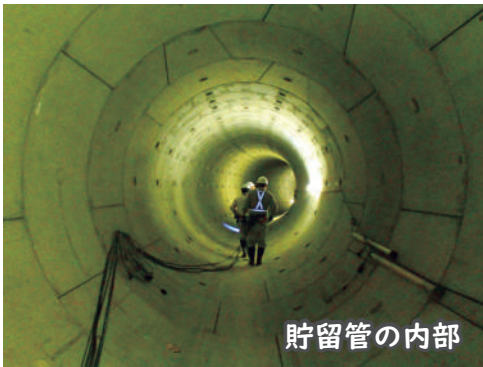
中央病院・ゆめタウンはません 周辺の浸水対策について

昨年6月の広報誌で託麻中学校区内の浸水について記しました。改めて概略を説明すると、中央病院・ゆめタウンはません周辺や木部バス停付近は梅雨時や台風シーズンで大雨が降ると、近くを流れる田迎排水路等から水が溢れてたちまち冠水します。

私は今から20年前の2003年、市議に初当選後の9月議会の一般質問でこの件を取り上げ、現時点で木部橋の掛け替え、河川の拡幅工事が進行しています。しかしこの事業の終着点は浜線健康パーク付近までであり、関係機関に対して、「上流の中央病院・ゆめタウンはません一帯の浸水対策計画を一刻も早く打ち出すべき!」とことあるごとに訴えてきました。今回ようやく新たな浸水対策計画が策定されましたのでご報告致します。



ゆめタウンはません西側



貯留管の内部

そもそも中央病院・ゆめタウンはません

一帯の浸水の発生要因は?

①一帯は下水道事業による雨水管が整備されていない地区であり、流域内の雨水は中央病院西側を南へ流れる田迎排水路が主要な幹線水路となっており、浸水発生要因はこの幹線水路の排水能力不足です。

②幹線水路である田迎排水路に流入するまでの近辺の排水路も排水能力が不足しており浸水が発生する地区があります。



そこで今回幹線水路の

能力不足を補うために貯留管を新設

貯留管（ちよりゅうかん）とは？

大雨が降ったときに既設の河川や下水道管では流しきれずに水が道路に溜まります。貯留管はその流しきれない雨水を一時的に取り込むことで、道路等の浸水被害を軽減させる施設です。貯まった水は雨が降り止んだ後にポンプで汲み上げ、既存の河川や下水道管に戻す仕組みとなっています。

今回、浸水被害の解消・軽減を目的として、道路下に貯留管を整備することで中央病院・ゆめタウンはません周辺の浸水を軽減し排水能力不足を解消します。

今後のスケジュール

左記のスケジュールに沿って進捗していく予定です。完成まで時間を要しますが、先行きの見通しが立ったことをご理解いただきたいと思えます。尚、これからも新しい情報は随時お知らせします。

令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
基本設計	地質調査	詳細設計・模型実験	対策工事				
→	→	→	→				



Ｔさんからの手紙

昨年末お便りをいただきました。そこには毎月発行する広報誌を楽しみにしていることに加えてある相談が記されていました。

お便りをいただいた方を仮にＴさんとしておきますが、Ｔさんは熊本城近辺にお勤めされています。そのＴさんがおっしゃるには、熊本城への入り口の行幸橋は夜間街灯が全くついておらず、周辺も暗く観光客のクレームの声を耳にしたそうです。また城彩苑の入り口の観光客向けの案内板の周辺も街灯がないので全く見えないとのことでした。

また市電が走る熊本市役所前のメイン通りも花畑公園から辛島町までお洒落な街灯が設置してありますが、点灯していないものがいくつかあり、折角の通りのイメージを損なわせています。観光客だけでなく、市民にとっても大事な場所だけにぜひ調査・対応していただきたいとのことでした。

早速、関係機関に前記の内容を伝えて調査を依頼したところ、各箇所についてＴさんの指摘はいずれも的を射たものでした。関係機関からはそれぞれ本年度、もしくは近々調査修繕するとの回答を得てＴさんにもその旨返信をしました。

仕事柄、私も常にあちこち廻っていますが、安心安全を損なう箇所については指摘していただいて初めて気づくことが少なくありません。

今回の件は単に街灯が灯らずに暗いだけでなく、いわば熊本市の『顔』とも言える場所だけに来街者のイメージを棄損することにもつながりかねません。改めてご指摘に感謝申し上げます。



県知事選について

3月7日告示、3月24日投票
票で県知事選挙が行われます。

私はこの度の選挙で

たかし

木村敬さんを支援します。

その理由は

①この7年間、総務部長、副知事として議会での議論を通して直面する諸課題を共有、解消できる信頼に値する人物であること。

②出馬表明の際、蒲島知事の流れを継承しつつも発展させると明言されたことに共感したこと。

③生まれつきの左手の障がいと個性と捉える考えに想像を遥かに超える生き様を感じたこと。

以上のことから

私は木村敬さんを

たかし

支援してまいります。

